



演劇後に劇団員と地域住民が交流

懐かしの「喜観場」が1日限りの復活—— 劇団オーガンスがミニ演劇公演

劇団オーガンス（徳田幸治代表）のミニ演劇公演が6月10日、小田支所前の「喜観場」で行われました。喜観場は十数年前に休館した多目的ホールで、かつては冠婚葬祭や展示会などで利用されていました。

徳田さんは「喜観場には地域の皆さんの思い出が詰まっていると感じた。会場の復活にも協力してもらい、ここで公演できて良かった」と喜びました。



花菖蒲と屋根付き橋が美しい弓削神社で挙式

地域の人たちに見守られて—— 弓削神社で初めての結婚式

石畳地区の弓削神社で6月10日、初めての結婚式が行われました。地元住民の協力で式を挙げたのは石畳地区出身の亀岡一彦さんと東京都出身の杉田理恵さん。二人は石畳自治会の「石畳小さな拠点づくり」の計画作成がきっかけで出会いました。理恵さんは「菖蒲がきれいに咲く弓削神社で挙式できた。地域の皆さんのおかげで、和やかな式になった」と幸せいっぱいの笑顔で話しました。



公開された上岡美平のアトリエ

戦没画家・上岡美平のアトリエを見学 「五十崎タウンウォッチング」

五十崎地域に眠る魅力や資源を探る「五十崎タウンウォッチング」（五十崎中央自治会主催）が6月13日、上岡美平宅などで、岡山大学工学部・江面嗣人教授を招いて開かれました。公開されたアトリエでは山田清昭さんが、自然光を取り入れるための工夫や家族の思いなどを説明。江面教授は「昭和初期の建物の特徴がよく出ている。登録有形文化財を目指しては」とアドバイスしました。



自分たちで沸かしたドラム缶風呂は気持ちいいー

生きる力と地域愛を育む 「第3回立川小学校通学合宿」

「自分たちのことは自分たちでやる」を合い言葉に「立川小学校通学合宿」が6月15～17の3日間、立川自治会館などで行われ、5・6年生の12人が参加しました。

児童たちには料理や洗濯のほか、ドラム缶風呂や地元中学生が企画した「きもだめし」などをして、共同生活を楽しまました。6年生の長田未璃さんは「この経験を活かして、家でもお手伝いをしたい」と話していました。

高齢者にも安全・安心な高速道路利用を—— 内子・五十崎ICでETC現地説明会

「第1回シルバー世代高速道路利用説明会」が5月25日、NEXCO西日本内子五十崎料金所で開かれました。町内外から19人が参加し、ETCシステムの利用方法や、料金所のバーが開かなかったときの対処法などを学びました。矢川博久料金所長は、「高齢者の逆走や運転ミスによる事故が多発している。料金所に職員が待機しているので、落ち着いて対処して」と呼び掛けました。



隊員がパトロール車の装備品などを説明

多彩な演技と演出で観客を魅了 「第37回五十崎芸能発表会」

内子町文化協会五十崎支部（山田清昭支部長）の芸能発表会が6月4日、内子町共生館で開かれました。

13団体・約190人が出演し、日本舞踊やダンス、三味線や和太鼓の演奏など、練習で磨いた技を披露。吹奏楽団とキッズダンサーが共演する新しい試みや、丹念に育てられたサツキが並ぶ品評会、お楽しみ抽選会などもあり、訪れた多くの人たちを楽しませていました。



子どもたちの熱演に大きな拍手が送られた

子どもたちに見せたい自然の美しさ 石畳地区・麓川でホタルの観察会

子どもたちの環境に対する関心を高めてほしいと「石畳ホテル観察会」（うちみづネット主催）が6月10日、石畳自治会館と麓川で開かれました。町内の子どもたちなど約50人が参加。石畳を思う会の大木雄さんからホテルの生態などの説明を聞いた後、川でホタルを観察しました。ホテルを見つけた子どもたちは「あそこにおよよ」「きれい」とうれしそうに声を上げていました。



大木さんの説明を聞きながらホタルを観察

初監督に挑戦した八名信夫さんが 旭館の映画祭で舞台あいさつ——

「八名信夫 & 高倉健映画祭2017」（白波会・森文旭館保存会主催）が6月10日、旭館で開催されました。八名信夫さんの舞台あいさつの後、初監督作品「おやじの釜飯と編みかけのセーター」が上映されました。また町民との長年の交流に対して、内子町から感謝状が贈られました。八名さんは「内子は安らぎを感じる第二のふるさと。悪役が感謝状をもらっているのか」と会場を沸かせました。



稲本隆壽町長(右)から感謝状を受け取る八名さん